

昭和三十年八月二十七日

興地方復員部長

殿

謹啓

残暑尙酷しき折柄貴台には愈々御清穆の御事と拝察いたしております
 扱て、浮島丸より収容の御遺骨については並々ならぬ御配慮を賜りま
 したが、同船遭難十周年にあたる本月二十四日の命日には舞鶴市東本
 願寺堀尾師外二名の朝鮮人が来部の上、親しく御靈に参拝せられ、又
 当日は午後一時より当市内阿賀町の寺院において在日本朝鮮人総連合
 会広島県興支部主催により浮島丸その他一般殉職者に対する慰霊祭が
 執り行われましたので、小官竝に興市長も参列いたしました。終始

平穩裡に終了いたしました。

尙、右慰靈祭終了後朝鮮人代表三十数名が来部し御靈の参拝がありました。したが何れもその町重なる取扱に深く感謝の意を表して辞去しました。取敢ず右状況を御報告申し上げます。

末筆ながら折角御自愛のほどお祈り申し上げます。

敬具